

日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定研究会（認研第4号）

千葉アンギオ技術研究会

代表 加藤英幸

平成30年度 線量測定講習会のお知らせ

千葉アンギオ技術研究会では毎年、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定試験が行われるにあたり「線量測定講習会」を開催しております。今回は2015年に発表された診断参考レベル（DRLs）の概念も踏まえて、血管撮影業務に従事する上で重要となってくる“患者被ばく”と“従事者被ばく”の2つの被ばくについて実習と講義を通じて理解を深めるプログラムを企画しました。“患者被ばく”については装置管理の観点からの“患者照射基準点での線量率測定”と今後改訂されていくDRLsを見据えての“装置表示値および面積線量値の実践応用”を行います。“従事者被ばく”については、近年話題となっている放射線従事者の水晶体被ばくに対する考え方およびメディカルスタッフの被ばくを理解する上で大切な“空間線量率分布の測定”を行います。

自施設のIVRにおける線量の把握、被ばく防護および管理、診断参考レベル（DRLs）の理解を深めるための測定されたデータの扱い方や考え方などを実習と講義で皆様に理解していただく良い機会となるはずです。

受講資格などはありませんので、線量測定について学んでみたい方やこれから血管撮影業務を行う方、新人の方等のご参加もお待ちしています。なお、本講習会に参加された方には『日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構』の認定・更新の1ポイント、また『日本救急撮影技師認定機構』2ポイントが付与されます。

日時：平成29年4月28日（土）午前の部 10時～13時 午後の部 14時～17時

場所：千葉大学医学部附属病院 血管造影検査室および技師室

内容：実習 ー患者照射基準点の線量測定と空間線量率測定を理解しようー

ー患者照射基準点における装置表示値を理解しようー

講師：帝京大学ちば総合医療センター 滝口 孝行

東千葉メディカルセンター 渡邊 一寿

総合病院国保旭中央病院 川畑 和彦

東京ベイ・浦安市川医療センター 藤元 雄大

国保小見川総合病院 五十嵐 愛

東京女子医科大学八千代医療センター 中山 径生

講義 ー測定したデータをもとに計算方法を理解しようー

ー得られたデータの捉え方とDRLsを理解しようー

講師：千葉県循環器病センター 世利 峻

千葉市立青葉病院 伊藤 等

【オプション】

1. 「やってみようカテ操作！」 TERUMOの心臓キッドを用いたハンズオン

講師：しらさきクリニック 千葉 健

定員：20名程度（午前10名、午後10名）

受講料：500円

応募締め切り：4月22日（日）

申込先：tetsukasa@chiba-u.jp（担当：千葉アンギオ技術研究会 事務局：笠原）

メールタイトルを「4月28日 線量測定講習会」とし、施設名・名前・連絡先・希望時間帯（午前/午後/どちらでも可）・実習希望装置（フィリップス/キャノン（旧東芝）/どちらでも可）・オプション参加の有無を明記して下さい。

（事前登録制で応募者が多い場合は、1施設1名、申し込み順等を考慮して決めさせていただきます。また講習の希望時間および希望装置については考慮できない場合もございます。予めご了承のほどよろしくお願い致します。）

*講習会当日の集合場所やタイムスケジュールなどの詳細は受講者にメールにてお知らせ致します。

線量測定講習会 スケジュール

【タイムスケジュール】

午前の部		午後の部	
9:30～	受付	13:30～	受付
10:00～10:10	講習会前説	14:00～14:10	講習会前説
10:10～11:20	実習（各装置に分かれます）	14:10～15:20	実習（各装置に分かれます）
11:30～12:20	計算（各自で演算を行います）	15:30～16:20	計算（各自で演算を行います）
12:30～13:00	講義	16:30～17:00	講義

オプション スケジュール

【タイムスケジュール】

午前の部		午後の部	
13:00～14:30	講習会終了後	11:30～13:00	講習会開始前

*オプションは心臓カテーテル検査のモデルおよび実際のデバイスなどを用いた任意参加型のハンズオンで、実際に手技などを行っていただきます。

*オプションの受付は行いません。希望時間に任意での参加となりますので、参加時間にお集まりください。